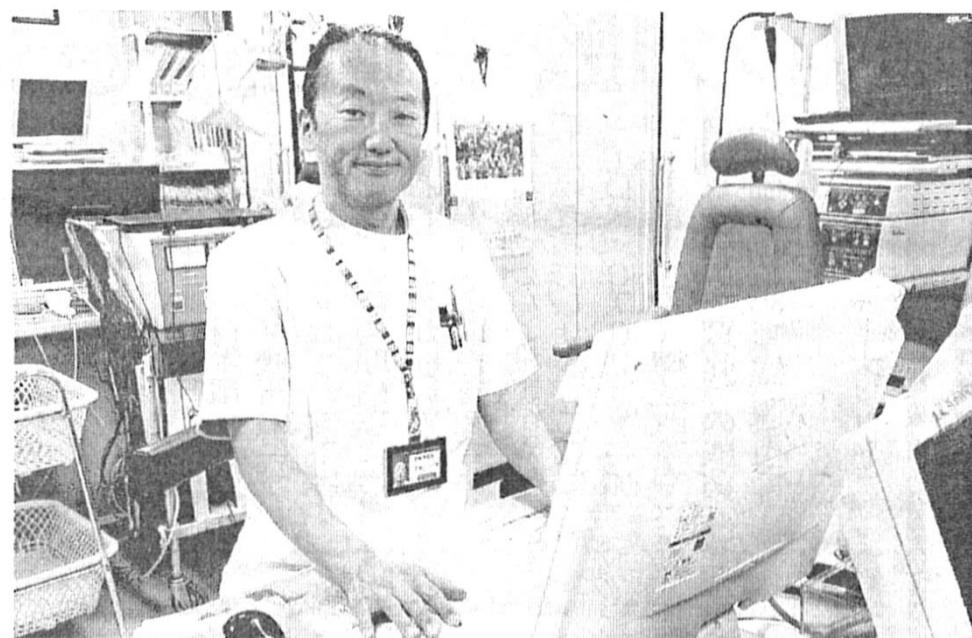


戸田中央総合病院(埼玉県戸田市)耳鼻咽喉科部長

中村一博さん(48)



なかむら・かずひろ 1969年青森市生まれ。96年東京医科大学卒業。2000年同大学院修了。01年同大八王子医療センター勤務を経て、14年戸田中央総合病院耳鼻咽喉科部長。日本気管食道学会認定医他。医学博士。趣味は楽器演奏(ベー)

「県内に1人もいないエリア」も少なくない。そのためクチコミの情報を頼りに、中村医師の専門外来には全国から患者が訪れる。

“声の悩み”は歌手や俳優の専売特許ではない。大切なコミュニケーション手段を取り戻す医療があることを、まずは知つておくべきだろう。

(長田昭二)

元の声を取り戻すことは可能!! 音声障害治療のスペシャリスト

中村医師
も言うように、音声障害を専門にする医師は少なく、

声が出にくい、枯れる、かすれる…。そんな「声」にまつわる症状に対応する専門外来がある。埼玉県戸田市にある戸田中央総合病院の耳鼻咽喉科に開設されている「音声外来」がそれだ。同科部長を務める中村一博医師は、「声の悩み」を一手に

受けは多岐にわたる。甲状腺や食道、肺などのがん切除や大動脈瘤などの手術の影響で、声帯を動かす筋肉を支配する反回神経が損傷を受けると、声帯麻痺や機能不全を起こすことがある。「がんは治ったことだし、声くらいは…と泣き寝入りをして

引き受ける、音声障害治療のスペシャリスト。「もともとが外科志望で耳鼻咽喉科を選んだのですが、中でも、機能をなおす外科」という点から“音声”に興味を持ちました。この分野はいわゆる隙間産業で、専門にしている医師も少ないので(笑)」

音声障害を引き起こすきっかけは多岐にわたる。甲状腺や食道の専門医が診れば元の声を取り戻すことは可能。こういう治療を行う医師がいることが世間に知られていないことが問題なのです」と中村医師は嘆く。耳鼻咽喉科全般の疾患に対応する中村医師。自身が執刀する手術の約半分が音声障害に絡るもので、その件数は年間約140に及ぶ。

手術は全身麻酔で行うものと局所麻酔で行うタイプがあり、術後1週間ほどで退院できる。中には手術ではなくリハビリだけで改善できる症例もあるので、“声の悩み”を持つ人は受診を検討する価値はある。



名医は
SRY